

【指定就労継続支援 A 型事業所 経営改善計画書】

法人名称	社会福祉法人薫徳会		法人代表者氏名	齋藤 縣三	
事業所名称	サンワーク（ベーカリー&カフェひまわり）		事業所番号	2317100291	
事業所所在地	名古屋市千種区古出来3丁目2-2				
連絡先	電話番号	090-9756-9445		FAX番号	052-937-0888
	担当者氏名	原田 真規子			
職員数	7名	定員	10名	利用者数	9名（うち身体 0名 知的 2名 精神 7名 その他 0名）
*R5.12.1現在で記入			*令和5年12月における実利用人数（想定）を記載してください。		
事業所の設置主体	社会福祉法人			設立（指定）年月日	平成19年4月1日
改善計画期間	令和5年12月1日～令和6年11月30日（1年間とすること）				

① 現在（令和4年度（4月～3月））の、指定基準第192条第2項（生産活動収入－生産活動経費≥利用者賃金総額）を満たすことができていない理由と具体的改善策（詳細かつ具体的に記載すること）

未達成理由	具体的改善策
①令和4年度前半はコロナ禍中ではあるものの、少しずつ販売先やイベント販売が戻ってきたため、積極的に参加した。また、焼菓子の委託販売に向けての商品開発を取引先と1年かけて行い、令和5年度より本格生産を開始している。②しかしながら、令和4年度後半に主担当の職員が一時休職したことにより、慣れない職員で運営せざるを得ない状況になり、一時的に事業を縮小して営業しなければならなかった。③人員体制に加えて、令和4年度後半は物価高騰による原材料費が増加した。③さらに、区役所の移転で販売継続できないなど外販先が減少した。	①大口受注に向けた体制作り：大量生産できる環境整備。作業の効率化。わっぱんとの共同仕入れ共同受注体制の構築。 ②販路拡大：年3件以上の新規販売先の獲得。大口受注に向けた営業活動。販売場所、売上額等から効率よい販売先の開拓と現在の販売先の整理を行う。 ③目玉商品の開発。 ④業務量増加に伴う人員体制の整備。

② 現在（令和4年度（4月～3月））の事業内容及び計画期間（令和5年12月～令和6年11月）を通じて実施する事業内容

現在の事業内容	計画期間を通じて実施する事業内容
パン製造販売事業。販売先：店舗・社協・保健センター・区役所等12ヶ所。注文販売：7ヶ所。委託販売：3ヶ所。イベント販売：8回。コロナ禍で販売休止：4ヶ所。新規取引先：1ヶ所。単独での販売・商品開発だけでなく、他事業所と販売協力体制の構築やコラボ商品の開発に令和3年度に引き続き取り組んだ。	パン製造販売。カフェ事業は一旦縮小し、製造力を強化しているが準備が整い次第再開予定。営業日やイベント等を含め、店舗売上を伸ばす戦略を検討、実践していく。また、注文販売や配達事業の拡充。積極的な広報活動を展開。チラシの配布、SNSやインターネットの活用。他社の下請けとして、菓子等の受注販売等新規事業の更なる推進。他事業所とのコラボ商品の拡充。お客様を飽きさせないイベントを企画。販売イベントへの積極的な参加。広報活動はメンバー中心として進め、商品開発各種企画は職員を中心にメンバーも参画していく。

（*）事業内容には、生産活動の内容、対象顧客、市場動向、競合相手の動向、改善後の事業内容に主に従事する者の数や属性（どのような資格、経験等を持った者が担当するか等）について詳細に記載すること

③ 現在（令和4年度（4月～3月））の生産活動に係る、事業の収入額（＝就労支援事業収益）及び計画期間（令和5年12月～令和6年11月）を通じて達成する事業収入目標額（1年間の額を記載）※1

現在の収益額（注1）	計画期間を通じて達成すべき目標収益額（注2）
7,453,892 円	12,890,000 円
（主な費目） 店舗売上収入（38.4%）、外販売上収入（36.7%） 注文売上収入（12.4%）、単発注文・販売売上収入（4.5%） 委託販売売上収入（6.1%）、イベント販売（1.9%）	（積算根拠） 店舗売上収入（38.9%）、外販売上収入（32.6%） 注文売上収入（12.8%）、単発注文・販売売上収入（10.1%） 委託販売売上収入（4.7%）、イベント販売売上収入（0.9%）

※1 実際の収益発生年度に計上してください。消費税、特定求職者雇用開発助成金等は除いて記載してください。

（注1）現在の収入額については、先日ご提出いただいたA型事業に係る実態調査票の生産活動収益欄の令和4年度数値と同じとなります。以下、回答項目④～⑥も同様です。

（注2）目標収入額は、「平均利用者数×平均労働時間×最低賃金額×平均利用日数×12か月」以上の額でなければならない。

④ 現在（令和4年度（4月～3月））の生産活動に伴う費用及び計画期間（令和5年12月～令和6年11月）を通じて見込まれる必要費用の見込額（1年間の費用を記載）※2

現在の費用	計画期間を通じて見込まれる費用
4,473,314 円	5,327,904 円
（主な費目） 材料費：3,565,847円 水道光熱費：552,557円 燃料費：129,310円 器具什器費：225,600円	（積算根拠） 材料費：4,202,843円 水道光熱費：753,718円 燃料費：145,743円 器具什器費：225,600円

※2 原材料費や生産活動に係る経費（厨房リース料など）を計上してください。

⑤ 生産活動に係る事業の「収益」－生産活動に伴う必要「費用」（③－④）

現在（令和4年度（4月～3月））の「収益－費用」	計画期間における「収益－費用」
2,980,578 円	7,562,096 円

⑥ 現在（令和4年度（4月～3月））の利用者の総賃金額及び計画期間（令和5年12月～令和6年11月）における利用者の総賃金額等

	現在	計画期間
(A) 支払い 総賃金額 (※3※4)	9,760,508 円	12,059,127 円
	(積算根拠) 総労働時間 10,060時間（平均労働時間4.62時間） 平均利用者数 8.6人、利用日数 255日 平均時給 970円、最低賃金除外申請者 0人	(積算根拠) 総労働時間 11,646時間（平均労働時間4.5時間） 平均利用者数 9.8人、利用日数 265日 平均時給 1,035円、最低賃金除外申請者 0人
給付費等充当額 (B)=(A)-⑤	6,779,930 円	4,497,031 円
利用者の 総労働時間 (C) ※5	10,060 時間	11,646 時間
時給換算額 ⑤÷(C)	296 円	649 円

※3 利用者の労働年度における賃金発生額を計上してください。

(例) R5年3月に労働した分の給与支払いが4月15日の場合、3月分に計上されるためR4年度に計上する。

※4 社会保険料等事業主負担分を含めて記載してください。

※5 利用者の当該年度に勤務した労働時間数を記載してください。単位は「時間」で記載し、小数点第一以下は切り捨ててください。

事業所代表者署名欄

理事長 齋藤 縣三